

BLS/AEDトレーニングサービス

1 応急手当の目的と必要性

救急車到着前にできることがあります。

- < 目的 >
- 1 救命
 - 2 悪化防止
 - 3 苦痛の軽減



2 突然死の発生状況と原因 年間発生件数129,144人

心原性心肺停止81,742件 > 除細動2,837件 > 1ヵ月後の生存1,038件(36.6%)

総務省消防庁 令和4年版 救急救助の現況より



- 突然死の死因 **45.8%**が循環器疾患
- 突然の心停止の発生場所 **約70%**が自宅
- 死亡前の生活活動 **33%**が就寝中

総務省消防庁 令和4年版 救急救助の現況より

3 日本の救急システムの現状

総務省消防庁 令和5年版 救急救助の現況より

救急出動から現場到着まで、全国平均 **約 10 分**

その他

心肺停止の目撃から救急要請に要する時間	3分+α分
現場到着、心肺停止確認、モニタ装置装着等	1 分
特定行為(除細動等)の指示要請	1 分

救命処置開始まで合計時間 **15 + α 分**



4 救命には時間がもっとも重要



< CPR・除細動開始時間よっての生存率 >

	除細動までの時間が10分以内	除細動までの時間が10分以上
CPR開始まで5分以内	37%	20%
CPR開始まで5分以上	7%	0%

出典: CPRの早期実施での病院外心停止の蘇生 (Am J Emerg Med, 1985; 3: 114-119より)

参考: 発見から病院収容までの平均時間 **42.8分**

5 CPR(心肺蘇生法)の重要性

CPR(心肺蘇生法)とは、**胸骨圧迫(心臓マッサージ)**と**人工呼吸**のことです。

CPRとは機械または薬に頼らずに行える、唯一の一次救命処置です。

突然の心停止発生から、5分以内に処置を開始することが重要です。

6 救命の連鎖 ~大切な、命を守るために~

(Chain of Survival)



① 心停止の予防

未然に防ぐ
初期症状の気づきが重要。



② 心停止の早期認識と通報

早い通報
おちついて、はっきりと119番に通報する。



③ 一次救命処置(CPRとAED)

早い応急手当
心肺蘇生法とAEDで応急手当を行う。



④ 二次救命処置と心拍再開後の集中治療

早い医療処置
医療機関における医療処置。

ハートスタートFRx+e 機器説明



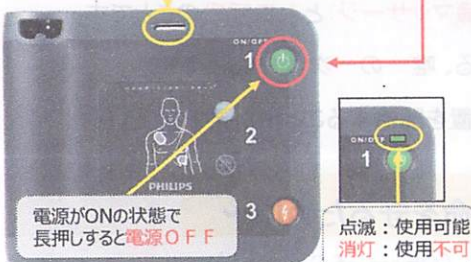
※AED（自動体外式除細動器）使用時の注意点

- 汗や水で身体が濡れている ⇒ タオルなどで拭き取ってからパッドを貼る
- 胸毛が濃い ⇒ 体毛を除去してからパッドを貼る
- パッドを貼る位置に湿布薬等が貼られている ⇒ はがしてからパッドを貼る
- ペースメーカーなどの機器が埋め込まれている ⇒ 埋め込み位置から8 cm離れたところに貼る
- ネックレスなどがある ⇒ 胸部周辺の金属類を取り除いてからショックを実行する

①電源ボタンを押す

⇒自動的に音声ガイダンス開始

未就学児用キースロット
未就学児用キー（オプション）を
差し込むと未就学児モードに変わります。
※未就学児用キーがない場合は患者が
未就学児であってもそのまま使用してください。



電源がONの状態
長押しすると電源OFF

点滅：使用可能
消灯：使用不可

②パッドを患者の胸に貼る

⇒解析ランプが自動で点滅
電気ショックが必要なかの解析が開始



「i」インフォメーション
ボタンを押すと心肺蘇生
のガイダンスが流れます。

③ショックボタンを押すよう指示が出たら
体から離れてオレンジ色のボタンを押す
⇒電気ショックが実行されます

AED使用した心肺蘇生法（CPR）

※不安な方は119番通報時に通信指令員から胸骨圧迫の要領を確認できます。

1)反応の確認をする

肩を軽く叩きながら「わきますか？」などと
徐々に大きな声で2～3回呼びかけます。

事前に周囲の安全を確認しましょう

※意識の確認時、迷った場合は119番通報し、通信
司令員の指示に従ってください。



2)大声で協力を求める

「誰か来てください！」
「人が倒れています！」

「あなたは119番通報してください。」
「あなたはAEDを持って来てください。」



3)呼吸の確認をする

胸または腹部が上下に動いているかを
10秒以内で確認します。

※判断に迷う場合は、
胸骨圧迫を開始してくだ
さい。



4) 胸骨圧迫（および人工呼吸）を繰り返す

圧迫の速さ 1分間に
100回～120回

圧迫の深さ
5 cm～6 cm



呼吸吹き込みの長さ
1秒

30回 2回

※呼吸吹き込みについては、人工呼吸を行う技術、意思がない場合は行わなくても構いません。

5)AEDの電源を入れる



電源ボタン（緑のボタン）
を押してください。

電源を入れた後は音声
メッセージで案内されます

未就学児用キースロット
未就学児用キー（オプション）を
差し込むと未就学児モードに変わります。

6)電極パッドを患者の胸に貼る

カードリッジから電極パッドを取り出し、表面に描かれている位置に貼ります。

『絵の通りにパッドを貼ります。』



パッドが貼られると
自動的に解析が始まります。

7)解析

『身体に触れないでください。解析中です。』

心電図が自動的に解析され、除細動が必要であれば
点滅しているオレンジのボタンを押すように指示がでます。



8)除細動を行う ショックボタンを押します。

『ショックが必要です。身体から離れてください。
点滅しているオレンジのボタンを押してください。』

自動的にエネルギーが充電され、
オレンジのボタンが点滅します。

※ショック実施前に必ず確認してください

- 声を出して、周囲の人が患者から離れるよう指示します
- 手振りでも患者から離れるように指示します
- 患者の身体に誰も触れていないのを確認します



9)パッドを貼ったまま直ちに胸骨圧迫を再開する

電気ショックを行った後、何らかの応答や目的のある仕草
（嫌がるなどの体動）、あるいは救急隊が到着し引継ぐ
まで胸骨圧迫を続けます。

2分間の心肺蘇生の後にAEDが再度心拍を解析し、
除細動が必要かどうか指示します。

※患者の状態が変化すると、AEDが反応します。

10)救急隊に情報を伝える

救急隊が到着したら、以下の項目を伝えましょう

- ・患者が倒れた時の状況
- ・容態の変化
- ・応急手当の内容
- ・電気ショックの回数

「i」インフォメーションボタンを押すと、心肺蘇生法を補助する
音声ガイダンス（CPRコーチング機能）を聞くことができます。



BLS（一次救命処置）トレーニングを定期的に行いましょう。

BLSトレーニングの実施周期は1年以内が望ましいとされています。定期的にBLSトレーニングを行うことをお勧めします。
ALSOKではトレーニングの実施はもちろん、関連商品も取り扱っております。



〒107-8511
東京都港区元赤坂1-6-6
<http://www.alsok.co.jp/>



●販売店/お問い合わせ
ALSOK 中央支社
担当：セキュリティサービス部 業務課
電話：03-3546-7615（平日 日中）